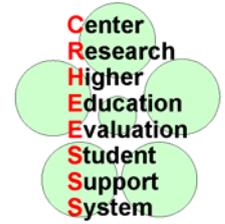


週刊センターニュース

No.175



第175号(2007年9月24日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

〇●〇 平成19年度全国大学教育研究センター等協議会について 〇●〇

いわゆる「大学教育研究センター」の全国の集まりである「全国大学教育研究センター等協議会」が、平成19年8月23日、24日の2日間に亘り、広島大学中央図書館内ライブラリーホールで開催されました。参加人員は、約65名でした。

第1日目は、20の参加各センターより、約10分間の枠組みの中で、活動報告がなされたほか、国立教育政策研究所・高等教育研究部より、センターの役割と機能について、報告がなされました。

第2日目は、午前中の前半、2つの分科会に分かれて質疑が行われ、後半は、全体会議形式で討議が進められました。

2分科会のテーマは、それぞれ、「テーマ1 FD活動の実践と今後の課題」、「テーマ2 センターの所属機関内における役割と今後の課題」でした。「テーマ1」では、新潟大学大学教育開発研究センター、愛媛大学教育・学生支援機構、琉球大学大学教育センターより、事例報告がなされました。「テーマ2」では、東北大学高等教育開発推進センター、東京農工大学大学教育センター、長崎大学大学教育機能開発センターより、事例報告がなされました。

私(早田)は、「テーマ1」に出席したのですが、報告を行った3センターとも、先進的なFD実践を行っていることに対し、正直驚きもし、また、そこまでセンターがFDに踏み込む必要があるのか、と少し憂鬱になったりもしました。この分科会では、大きな議論となったのは、こうした私の懸念とも関連する事柄だったのですが、「FD」の範疇で捉えられるのは、その部分までなのか、それらのうち、センターが担わなければならないのは、どこまでの領域なのか、という点でした。この議論は、センターの活動能力と限界の問題として、各専門分野の教育改善に対し、学内的にセンターとしてどの程度の貢献が求められているのか、そうした学内的要請にセンターとして果してどの程度まで応ずることが可能なのか、という点の検討にまで及び、立場の違いを乗り越えて、有益な議論に昇華されていきました。

ところで、平成19年7月31日の大学設置基準の改正により、学士課程段階においてもFDの義務化が実現することになりました。また、平成20年度より、「地域におけるFD拠点の形成」が、高等教育政策の俎上に載ることが予想されています。上記のような法改正と相俟って、全国の「大学教育センター」が、FD実践の局面において、今後どのような活動を展開しようとするのか、本学の大学教育開発・支援センターに籍を置く者として、そうした動きには当面、目が離せないところです。

(文責: 評価システム研究部門 早田 幸政)

〇●〇 授業の内容及び方法を改善するために一学期初めの工夫 ②ー 〇●〇

後期の授業準備に取りかかられておられる方も多いかと思います。今回は、授業内容、方法改善への一つのヒントとして、アカンサスポータルについて改めて紹介させていただきます。アカンサスポ

ータルは、ICT 教育推進の全学方針に則って導入されたシステムで、現在は LMS（学習管理システム、商品名：WebClass）上で稼働しています。

アカンサスポータルの代表的な機能としては、

- ・ 電子掲示板、メッセージ機能による学生とのコミュニケーション促進
- ・ 解説資料のアカンサスポータル上へのアップロードによる授業資料準備
- ・ 小テスト結果、課題学習時間、レポート提出などの授業活動記録保存

などです。

すでに全ての教員、学生に ID が発行されています。また、共通教育科目だけでなく、専門科目も合わせて全ての授業がアカンサスポータルに登録されており、授業への学生登録も 10 月中には完了する予定です。昨年度から始まったノート PC 必携化により、1、2 年生は全員ノート PC を持っていますし、上記機能を有効に活用していただいている授業も共通教育、専門ともに増えてきています。

ここからは、より具体的にアカンサスポータルの機能と有効性について述べます。

- ・ メッセージ機能：

個人情報保護が徹底されて生きている今日では、個別の学生本人だけと連絡が取れるアカンサスポータルのメッセージ機能は非常に便利です。掲示は大学に来ないと見られませんが、アカンサスポータルのメッセージは自宅や帰省中でも読むことが出来ます。

- ・ 電子掲示板（会議室）：

授業で扱った内容を電子掲示板での議題とすると、授業中発言しない学生も積極的に意見を出します。他者の意見がわかるという点では学生にも好評です。

- ・ 解説資料：

授業中配布した資料をアカンサスポータルへアップロードしておけば、学生の予習に役立ちますし、欠席した学生用に改めて資料を用意する手間も必要ありません。その回の授業内容を授業後に見られるようにしておけば、学生の復習にも役立ちます。

- ・ 授業活動記録：

アウトカムズ評価が議論されている今日、授業での学生とのやり取り、学生の小テスト結果、レポートなどの記録が残ることにより、学生自身が自分の成長を実感でき、教員も学生の成長を確認できます。プレテスト、ポストテストと組み合わせるとさらに有効です。

このように、アカンサスポータルは対面授業活動を円滑に進めるためのツールを沢山備えています。しかし、その全てを使いこなす必要はありません。まずは、メッセージ機能等での学生とのコミュニケーション促進に使っていただくだけでも、授業進行が大きく変わるものと思われま

ICT 教育推進室では、教員の皆様の要望に応じてアカンサスポータル利用講習会を開催させていただいています。学部単位、学科単位（平成 20 年度からの学類単位、コース単位）、研究室単位、FD 委員会、教員有志によるグループ単位などで講習会を希望される場合やアカンサスポータルについてご質問がある場合は、ICT 教育推進室までご連絡ください。

ICT 教育推進室（アカンサスポータル相談室）

TEL 264-5817, FAX 264-5999, メールアドレス e-support@el.kanazawa-u.ac.jp

また、その他にも、総合メディア基盤センターにおける定期的開催も行なっています。是非、アカンサスポータルを授業に取り入れてみてください。（文責：教育支援システム研究部門 堀井祐介）